



早川 浩徳 議員

学校を核としたこれからの地域づくりについて

学校・福祉事業所・地域の連携による

地域づくりを進めるべきでは？

学校を核としたネットワークを作り、地域コミュニティ活性化を図ります。

問 学校・福祉・地域の3者の連携は。

答 教育総務部長

学校と福祉事業所の連携は、外部講師による福祉学習や福祉施設でのボランティア活動を実施しています。福祉事業所は、地元との交流イベントを実施されるなど地域に根差した事業を展開されていると聞いています。

現在、3者連携の仕組みはありませんが、学校を核とした地域住民・団体等による緩やかなネットワークの構築と地域コミュニティ活性化を図ることは重要であり、実現を目指したいと考えます。

その他の質問

●ICTを活用したテレワークの促進について

問 地域と学校の連携の現状は。

答 教育総務部長

地域コミュニティの希薄化による地域の子育てへの関わりの薄れや担い手不足等が問題となっている。文科省の地域と学校がともに学校を運営する方針は、学校を核とした地域づくりにつながる。さらに福祉との連携は幅広い世代によるコミュニティの再生につながると考える。

問 学校運営協議会の設置スケジュールは。

答 教育指導部長

来年度を目途に設置を考えています。

問 学校から地域への参画は。

答 教育指導部長

地域とともにある学校づくりに向け、青少年育成学区民会議への参画や、地域行事への参加をしています。

問 地域住民が気軽に訪れる学校にするための施策は。

答 教育総務部長

高島学園での毎朝の校内見守り、月2回の民生委員児童委員の訪問など地域の方が毎日のように学校を訪れ、子どもや教職員と交流しています。

問 学校運営協議会の設置の現状は。

答 教育指導部長

現在は未設置ですが、準備を進めています。

問 地域学校協働活動推進員の活動は。

答 教育総務部長

高島学園で学校支援ボランティアの募集や児童生徒の地域参加の支援など地域と学校をつなぐ役割を担っていただいています。

